

日朝国交正常化連絡会 総会 運動方針提起

1) この1年の朝鮮半島情勢と私たちの取り組み

昨年の第2回総会を起点とした1年間、私たち連絡会は、日本が朝鮮半島を植民地化してから100年目に当たる2010年を重要な節目にとらえ、日朝国交正常化の運動を進めてきた。

おりしも日本では、自民党政権が民主党の鳩山由紀夫政権に交代し、日朝関係の改善、ひいては正常化へと進む好機と見られた。

連絡会はまず、日朝基本条約試案を作成し、2010年末までに日朝基本条約を締結するよう求めて各界各層に呼びかけるとともに、与党である民主党・社会民主党や政府に働きかけ条約試案を説明し、対北朝鮮政策の転換を求めてきた。平和フォーラムでは日本政府にアジアとの連帯を求める署名運動を進める中で、日朝国交正常化の課題に取り組んできた。全国の仲間たちも集会や学習会、訪朝団の組織などを通じ運動を展開してきた。

しかし、鳩山政権は北朝鮮に対する制裁措置を維持するばかりか、今年に入って高校教育無償化から朝鮮学校を除外することを検討し始め、4月からの実施に際しては無償化適用決定を保留としてしまった。鳩山・菅政権は、黄長燁元朝鮮労働党書記、金賢姫元死刑囚の日本招請など、北朝鮮に対する圧迫政策ばかりを継続している。

私たちは全国の諸団体とともに無償化措置からの除外に抗議し、日本政府が対北朝鮮政策を根本的に見直すよう求めてきている。

一方、3月26日に発生した韓国の哨戒艦沈没事件をめぐり、朝鮮半島での緊張が高まっている。5月20日に韓国政府から北朝鮮の魚雷による攻撃であるとの発表がなされた。これに対し北朝鮮政府は自分たちの関与を否定し、調査への参加をもとめている。米国も韓国政府の北朝鮮非難に同調するとともに、朝鮮半島の平和定着に積極的に取り組む姿勢を示さず、六者協議は断絶したままである。日本政府は、李明博政権を支持すると言っばかりで、緊張した東北アジア情勢を打開する策を示していない。その上、6月8日に独自の追加制裁を決定した。

東アジアの平和を前進させるために、対話を通じた平和体制への移行と非核化が切実に求められている。

2) 運動の方向

今年が朝鮮を植民地化してから100年目にあたることから、日韓の市民団体や知識人の間で、日本社会が植民地支配の歴史を反省し過去を清算して、真の友好関係を作り上げるためのさまざまな取り組みが進められている。とりわけ、1965年の日韓基本条約で打ち出された併合条約無効の宣言について、本来的に不義不当だとして、当初より無効だとした韓国側の解釈を採用すべきだという主張が提起されている。植民地支配が不当なものであり、朝鮮半島の民衆に多大な苦痛を与えた事実、そして謝罪と補償がこれまで十分になされてこなかった事実についても、明確に確認されなければならない。今年、首相が発表することを期待されている植民地支配に関する「談話」において、こうした点が確認され、日韓関係はもち

ろん、日朝国交正常化に反映されていくことが望ましい。

また、今年には朝鮮戦争が始まってから60年にあたる年でもある。哨戒艦事件は、朝鮮半島がいまだに停戦状態にすぎず、常に平和がおびやかされる状況が続いていることを如実に示した。朝鮮半島が停戦から平和定着へと進むよう、日本自身が東北アジアでしかるべき役割を尽くすことが求められている。

普天間基地移転問題では、あたかも米海兵隊が北朝鮮の脅威に対する抑止力であるかのように語られた。とりわけ3月に哨戒艦沈没事件が発生すると、韓国で戦時作戦統制権の韓国軍への返還を延期しようとする動きが活発化し、日本でも米軍が平和と安定のために必要だとする雰囲気を作られ、基地移転問題をうやむやにするために利用された。

しかし、米軍基地の存在が東北アジアの緊張を高める一因であり、基地ではなく多国間の対話こそが平和を守ることは、歴史が証明している。日本が北朝鮮との関係改善を進め国交を正常化することは、朝鮮半島の冷戦構造を打破し平和な東北アジアを確立するために、不可欠である。

第二次世界大戦が終結して65年、東欧社会主義圏が崩壊して世界的冷戦が終わりを告げてからでも20年がたつ今日、隣国である北朝鮮との国交がないのは、異常なことといわざるをえない。その事実を不思議とも思わずにすませられる現在の日本の思想状況を変えていく作業が必要な現実が、われわれの目の前にある。

事態を前進させるためには、日本政府の対北朝鮮政策を転換させなければならない。7月11日投票の参議院議員選挙においては、民主党が議席を減らした。政権基盤は弱まっているが、こうした時こそ平和と民主主義を前進させる明確な目標が求められるのではないか。私たちは菅直人首相に対し、北朝鮮に対する偏見や反感を持つ閣僚を毅然として退け、歴史を踏まえ真に平和をめざす北朝鮮政策を確立するよう促していきたい。

①制裁措置を解除し日朝交渉早期再開を

もはや2010年もなかばを過ぎたが、日朝国交正常化が急務であることは変わらない。ところが日朝交渉は、自民党の福田康夫政権以降、実務協議さえ行なわれていない状態である。日本政府がまず、制裁措置を一部解除することで無条件の日朝交渉再開を呼びかけるとともに、できることから日朝の具体的実践を積み重ね、信頼関係を醸成していくよう求めている。そのために、政府与党への積極的働きかけを行なう。

②過去の謝罪・反省に向け日本の世論を高め日朝基本条約につなげよう

私たちが提起した日朝基本条約は今日でも意味のある提起だと考える。日本の朝鮮半島に対する植民地支配の不当性を確認、日本社会における謝罪・反省が広く共有され、日朝基本条約が締結されるよう、日本で一層の運動を進める。その第一歩として、菅直人首相が村山首相談話や日韓共同宣言をより前進させた内容の談話を発表するよう、はたらきかけていく。

③基地のない沖縄のための運動と連帯し東北アジアの非核・平和を求めていく

沖縄からは普天間基地県内移設反対の声が政府に突きつけられている。北朝鮮を脅威と見

ることにとどまるのではなく、対話と外交で関係を改善し、国交正常化の過程で平和をひとつひとつ実現するよう、日本社会に訴え、政府にはたらきかけていく。

④在日朝鮮人の人権を守るための取り組みを強化していく

日本政府が朝鮮学校を無償化措置から除外したことは、差別政策以外の何物でもない。さらに、この間の北朝鮮に対する制裁措置も、実際には在日朝鮮人に対するバッシングにほかならなかった。各地で朝鮮学校を攻撃する排外主義的な動きも強まっている。引き続き、無償化適用除外の不当性を訴えるとともに、在日朝鮮人の当然の人権を守り排外主義的動きを許さないための運動を広げていく。

3) 具体的取り組み

①日本政府・与党への働きかけ

日朝交渉再開に向けて日本政府および与党民主党へのはたらきかけを強化していく。日朝基本条約の提起についても引き続き行なう。

②朝鮮植民地化100年にあたってのアピールの強化

日本の植民地支配に対する社会的認識を共有していくための運動を強化する。とりわけ、日朝間の国交がない不正常的な現実について広く訴える情宣活動などを、日朝平壤宣言8周年にあたる9月中旬に全国で行なう。また、日朝国交正常化が急務であることを強くアピールする集会・講演会などを各地で推進する。

③平和のための国際連帯の強化

朝鮮半島が対話を通じて平和な環境に進むことができるよう、韓国などの市民運動と一層の連帯強化を進める。

④朝鮮高校無償化実現まで世論を盛り上げる

菅直人政権のもとで、朝鮮学校の無償化適用の除外をこれ以上続けさせないために、全国での取り組みを継続し、国際社会にもはたらきかける。

⑤「制裁白書」の作成

在日朝鮮人の生活と権利をおびやかす、国際的に認められている移動の自由をはなはだしく制限する、日本政府の制裁措置について、その内容と不当性をあらためて整理し、社会的にアピールしていく。

⑥一層の組織強化

連絡会の組織は十分な担い手を生み出せず、十分に取組みなかつた課題もあった。一層の組織強化、情報交換を通じ、より活発な運動の展開に努力していく。

日朝国交正常化連絡会 2009年総会からのとりくみ

①日朝基本条約試案の作成と提起

日朝基本条約試案を世に問い、社会的にアピールするとともに、シンポジウムなどを通じて議論を巻き起こしていく。また、試案検討のための専門委員会を構成する。

パンフレット『朝鮮植民地化 100 年を機に日朝基本条約締結を』	09/12/07
40 名参加し「日朝基本条約案院内説明会」	10/02/16
日朝基本条約案検討学習会	10/02/24
併合条約は締結当初から無効－「韓国併合」100 年日韓知識人共同声明への協力	10/05/10

②日朝基本条約締結を求める署名

日朝基本条約を 2010 年末までに締結するよう日本政府に求める署名活動を行なう。また、署名を呼びかける声明を発表する。

平和フォーラム署名「東アジアとの新しい連帯を築くことを求めます」への協力 10/05/～

③全国での集会や行動

日朝国交正常化実現のために全国各地で引き続き集会や行動を行なう。また、9月中旬には日朝ピョンヤン宣言七周年の全国共同行動を呼びかける。

連絡会のとりくみ

9・17 ピョンヤン宣言 7 周年日朝国交正常化連絡会学習集会	09/09/17
日朝連絡会「ヒロシマ・ピョンヤン～棄てられた被爆者」上映試写会	09/10/20
日朝連絡会「秘録・日朝交渉－知られざる"核"の攻防」上映学習会	09/12/21
日朝連絡会学習会－高校無償化からの朝鮮学校除外問題を討議	10/03/31
日朝連絡会学習会－伊藤監督訪朝報告。高校無償化共同声明を討議	10/05/10
日朝連絡会学習会－「哨戒艦沈没事件と朝鮮半島の政治状況」	10/06/16

各地・各団体のとりくみの紹介と協力

日朝国民協会

韓国併合 100 年 7 回連続講座(10/02-03)、「併合100年日本と北朝鮮」(10/03/30)

朝鮮女性と連帯する日本婦人連絡会

日本と朝鮮半島の今を問い日朝国交正常化の実現を！女性集会 (10/04/25)

朝鮮学校支援・高校無償化などのとりくみ

「枝川朝鮮学校支援」シンポジウム－子どもたちに未来を 10/03/28

在日朝鮮人犠牲者に関わるとりくみ

在日朝鮮人歴史・人権集会 (名古屋・奈良)

④政府・国会への働きかけ

総選挙を通じて成立する新しい政府に対し、平和的な朝鮮半島政策をとるよう働きかける。民主党、社民党をはじめ各政党に対し日朝国交正常化を訴えていく。

日朝国交正常化に向けた私たちの提案 09/12/01

「日朝国交正常化に向けた提案と要請」を外務省、民主・社民国会議員に
日朝交渉を再開し関係改善への具体的措置を求める要望書(官邸・外務)10/04/08

⑤制裁白書の作成

日本政府が行なってきた制裁とはどのようなものだったのか、在日朝鮮人に対してどのような意味を持ったのか、日本社会に問う白書を作成する。在日朝鮮人の人権擁護のため引き続き努力する。

高校授業料無償化からの朝鮮学校除外は鳩山政権にふさわしくありません	10/02/28
日朝連絡会学習会－高校無償化からの朝鮮学校除外問題を討議	10/03/31
日朝交渉を再開し関係改善への具体的措置を求める要望書(官邸・外務)	10/04/08
日朝連絡会学習会－高校無償化共同声明を討議	10/05/10
朝鮮学校への『高校無償化』適用を求める「共同声明」の呼びかけ	10/05/10
朝鮮学校への『高校無償化』適用を求める共同声明	10/06/16

⑥連絡会組織の強化

全国各地の運動組織の参加を求め、連携を強める。連絡会の教宣・学習リーフを作成・活用する。ホームページとメーリングリストを活用し、情報提供ととりくみの連携を図る。

パンフレット『朝鮮植民地化 100 年を機に日朝基本条約締結を』	09/12/07
事務局長通信「朝鮮半島への視点」発行 第3回～第6回	
ホームページ掲載記事	51件(前総会以後) 開設2008年10月 全件数 75
メーリングリスト投稿記事	394件(前総会以後) 開設2008年10月 全件数574
	2009年 7月 8月 9月 10月 11月 12月
	13 12 14 16 21 31
	2010年 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月
	25 36 96 28 41 40 33
メーリングリスト参加者	386名 前総会時点335名 51アドレス増

とりくみ一覧

秋 田

09/7/4 朝鮮人強制連行犠牲者慰霊式(八峰町)。

福 島

10/1/17 福島朝鮮学校を支援する会結成総会。

栃 木

09/8/9 足尾朝鮮人強制連行犠牲者追悼式 100 名。11/7 大谷・塩谷地区朝鮮人強制連行犠牲者追悼式 50 名。

群 馬

09/9/5 関東大震災朝鮮人犠牲者追悼集会。10/24 朝鮮人強制連行・強制労働現地学習会。2/16 映画「あんにょん・サヨナラ」上映会(太田)、2/27(前橋)、3/20(中之条)、3/26(高崎)。

埼玉

09/3/1 従軍「慰安婦」問題を問う埼玉集会(東松山)。

東京

10/2/27 東京大空襲 65 周年朝鮮人犠牲者追悼会。3/12 朝鮮学校高校無償化除外をしないよう求める集会。

神奈川

09/7/18 ~ 19-2009 「在日朝鮮人歴史・人権週間」東日本集会(100 名、ヴェルクよこすか)。
10/3/1 朝鮮 3.1 独立運動記念集会・かながわ歴史教育を考える市民の会主催 [韓国併合 100 年、日・韓・「在日」の未来を考える] (70 名、県地域労働文化会館)。

長野

09/3/下旬・日朝県民会議・構成団体・地区：朝鮮ロケット発射に対する日本政府が過剰対応に抗議する FAX 送信。5/23 日朝県民会議朝鮮人遺骨調査会議(大田市/20 人、強制連行調査団・洪祥進講師)。5/23 朝鮮人供養塔献花台新設慰霊式(大田市・長性院、70 人参加)。6/5 日朝県民会議、上小・松本地区の会そば打ち表敬訪問(11 人、朝鮮総聯中央本部・金剛山歌劇団事務所)。7/18 日朝問題学習会(松本市/60 人参加、講師：山本重耳氏 [神奈川高教組/全国在日外国人教育研究協議会会長])。8/9 第 55 回長野県平和友好祭典(長野市/26 名参加。松代大本営跡地フィールドワーク)。8/10 松代大本営追悼碑守る会：建碑 14 周年記念式典(長野市/50 人参加)。10/13 ~ 15 金剛山歌舞団長野公演(長野市・松本市・上田市/6000 人参加)。10/25 長野朝鮮学校創立 40 周年記念式典(松本市・朝鮮学校/600 人参加)。12/4 ~ 5 朝鮮統一支持運動第 27 回全国集会(名古屋市/2 人参加)。12/5 日朝県民会議第 32 回定期総会(長野市/40 人参加)。12/5 蓮池透講演会(長野市/300 人参加)。

新潟

09/4/10 経済制裁をやめ日朝国交正常化を求める 4.10 集会「日朝関係の現状と課題」吉澤文寿新潟国際情報大学准教授・講師(80 人/北東アジアの平和を考える会)。5/9 護憲フォーラムにいがた総会・記念講演会「拉致問題の真相と深層」蓮池透・講師(150 人)。9/27 ミレフェスティバル 2009(1000 人/朝鮮学校を支援する県民の会)。10/1/19 対県・対市朝鮮学校助成金申入れ(朝鮮学校を支援する県民の会)。

富山

09/11/23 ありがとう 9 条とやま憲法フェスタ(メイン講師：蓮池透/富山市・延べ 500 人)。
3/14 日本軍「慰安婦」問題と教科書を考える集い(富山市)。

石川

09/4/11 七尾強制連行問題フィールドワーク。10/2/6 韓国併合 100 年・東北アジアの和解と友好を考える 2.6 平和集会(講師：蓮池透さん)。

静岡

09/3/27 日朝友好県民会議第 18 回定期総会、北川広和講演。6/3 朝鮮民主主義人民共和国の核実験実施に対する抗議について：在日朝鮮人総連合会県本部(県平和センター、原水禁県民連合)。8/29 「在日朝鮮人、歴史・人権集会」全国集会；名古屋(4 名)。10/1/10 静岡同胞新春の集い。3/24 日朝友好県民会議第 20 回定期総会、清水澄子講演。5/10 学習会「戦争への道・韓国併合 100 年と満蒙開拓団」。6/19 「韓国併合 100 年・日本と朝鮮・韓国の過去と今を問う」和田春樹講演会。今後、2010 「在日朝鮮人歴史・人権月間」集会予定。

愛知

09/8/29-2009 「在日朝鮮人歴史・人権週間」全国集会(愛知)、200人参加。

三重

09/8/29-2009 「在日朝鮮人歴史・人権週間」全国集会(愛知)10人参加。10/4/24-2010 同月間関西集会に参加。10/07/19 ヒロシマ・ピョンヤン上映会。

岐阜

10/9/15-2010 「在日朝鮮人歴史・人権月間」集会予定。ヒロシマ・ピョンヤン上映会。

京都

10/03/28-朝鮮学校への攻撃をゆるさない！集会。

大阪

09/6/23 韓国併合100年を迎えて～過去克服と和解の次の100年へ(PLP会館)第1回学習会、田中宏講演、80人。10/29 韓国併合100年を迎えて(阿倍野区民C)第2回学習会、蓮池透講演、350人。11/14 故金大中元韓国大統領を追悼する会(在日大韓キリスト教大阪教会)520人、終了後、李鎬姫女史を囲む晚餐会(帝国ホテル大阪)55人。

兵庫

09/10/17-2009 「在日朝鮮人歴史・人権週間」関西集会、150人参加。

奈良

10/4/24-2010 「在日朝鮮人歴史・人権月間」関西(西日本)集会、200人参加。

岡山

09/10/15 「6.15 南北共同宣言」9周年記念講演会 129人。12/28 岡山市議会が朝鮮初中級学校の児童に対する補助金を倉敷市並に増額することを採択。

広島

09/7/17 日朝友好広島県民の会「朝鮮半島の非核化」問題を考える集い 83人

高知

09/6/13 日朝友好・国交正常化促進会議総会(第27回日朝連帯青年女性集会「朝鮮半島情勢と日朝国交正常化の課題」講師石坂浩一)。8/8 日朝友好夏の集い。12/5 四国初中級朝鮮学校訪問交流(高知県8名)四国36名。10/1/20 高知県日朝友好・国交促進会議新春セミナー及び交流会(54名)。

福岡

09/12/16-2009 年度県朝鮮学校を支援する会総会(朝鮮会館)40名。

佐賀

10/3/25 高校授業料無償化「朝鮮学校除外」反対チラシ・街宣。

長崎

09/10/12 日朝友好の集い in 長崎-蓮池透さん講演会(市民団体主催、200人)。11/9 金剛山歌劇団2009長崎公演(700人)。

大分

10/2/11 建国記念の日を考える集い(佐伯市)450人、蓮池透・講師。

鹿児島

09/12/7 朝鮮人連行問題学習会(鹿児島市東本願寺大谷会館)、10/2/11 紀元節復活に反対し、思想信教の自由を守る県民集会(講師:和田春樹、鹿児島市黎明館、220人)。

日朝国交正常化連絡会役員

- 顧問：河合秀二郎（東京・ピョンヤン友好交流会議）、田中宏（龍谷大学教授）、吉田康彦（大阪経済法科大学客員教授）、和田春樹（東京大学名誉教授）武者小路公秀（大阪経済法科大学教授）
- 代表：石坂浩一（立教大学教員）、清水澄子（朝鮮女性と連帯する日本婦人連絡会）福山真劫（フォーラム平和・人権・環境）、曹美樹〔チョウ・ミス〕（ピースボート）伊藤晃二（日朝長野県民会議）、三原誠介（岡山・日本と南北朝鮮の友好を進める会）中村元気（福岡県日朝友好協会）
- 事務局長：石坂浩一（代表兼任）
- 事務局次長：北川広和（日韓分析）、古田武（高麗野遊会実行委）、五十川孝（平和フォーラム）
- 幹事：
- | | |
|------|--------------------------------|
| 中央組織 | 井加田まり（自治労）、岩間克宏（日教組）、松本耕三（全港湾） |
| 地方組織 | 北海道 鳴海洽一郎（日朝連帯北海道民会議） |
| 秋田 | 工藤新一（秋田平和センター） |
| 埼玉 | 嶋田和彦（日朝友好連帯埼玉県民会議） |
| 東京 | 水谷研次（東京・ピョンヤン友好交流会議） |
| 神奈川 | 小原慎一（神奈川平和運動センター） |
| 長野 | 伊藤晃二（日朝長野県民会議、代表兼任） |
| 三重 | 鈴木逸郎（日朝三重県民会議） |
| 京都 | 本田克巳（朝鮮統一支持京都委員会） |
| 大阪 | 山下博司（大阪平和・人権センター） |
| 大阪 | 永久睦子（日朝国交正常化実現を求める市民連帯・大阪） |
| 兵庫 | 杉田哲（日朝友好兵庫県民の会） |
| 岡山 | 三原誠介（日本と南北朝鮮の友好を進める会、代表兼任） |
| 福岡 | 中村元気（福岡県日朝友好協会、代表兼任） |
- 市民団体 渡辺健樹（日韓ネット）、筒井由紀子（KOREA子どもキャンペーン）

+++++

日朝国交正常化連絡会総会・記念講演会開催にあたってのメッセージ

日ごろからの皆様方の真摯なご活動に心から敬意を表します。民主党は北東アジアの非核化と平和の実現を一貫して求め続けていることに変わりはありません。私自身は朝鮮民主主義共和国（北朝鮮）とは対話に基づくお互いの理解と信頼に基づいた関係性が構築できない限りその実現はないと考えます。

政権交代は、その第一歩であり皆様方のご助言を頂きつつ、一層の多くの努力を外交に傾け、民主党政権への期待を裏切ることのないよう精一杯努力を続けてまいります。

これからも皆様方からのご支援を心よりお願い申し上げ、一日も早く日朝国交正常化が実現し、北東アジアの非核化と平和の実現に向けて大きな一歩を成し遂げられるよう祈念しメッセージといたします。

衆議院議員 いなみ哲男

メッセージ

日ごろのご活動に敬意を表します。

日本の進む道はアジアの中での平和的共生しかありません。

ことさらに敵意をあおるような我が国の風潮の中でもくじけることなく、皆様方が長年にわたり日朝友好、国交正常化への運動を続けておられることは必ず近い将来実を結ぶことと存じます。

私がこの間、訪問している韓国でも、軍事政権による政治犯への弾圧が間違っていたことが法廷で明らかになり、幾人かの皆さんは名誉回復をされています。

今後とも皆様の活動が大きく成功することを念願し心からの連帯のメッセージを送ります。

民主党 副幹事長 衆議院議員 つじ恵（めぐむ）